

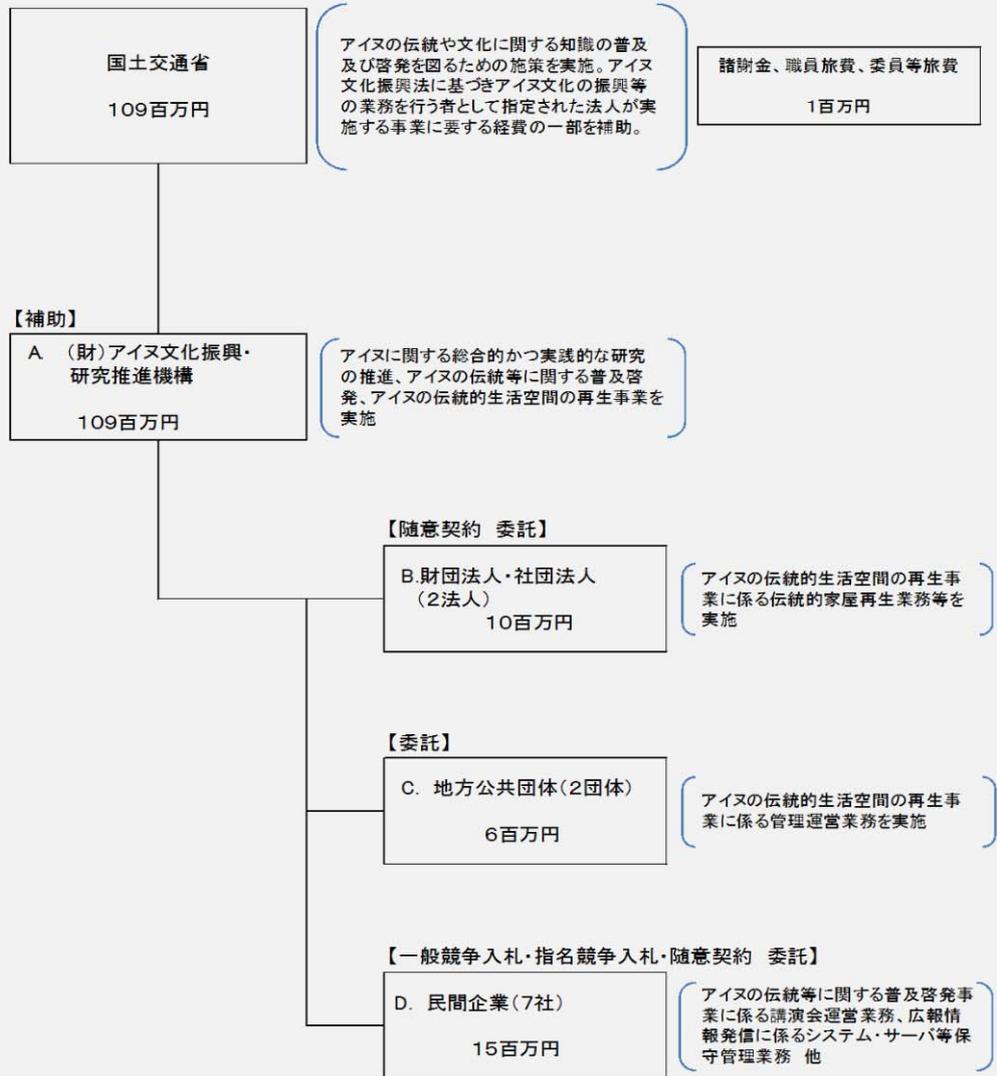
平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	アイヌの伝統等普及啓発等に必要経費		担当部局庁	北海道局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H9～		担当課室	総務課アイヌ施策室		室長 松浦 明		
会計区分	一般会計		施策名	43 北海道総合開発を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律(平成9年法律第52号)」「アイヌ文化振興法」第3条第1項(国の責務)		関係する計画、通知等	アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する国民に対する知識の普及及び啓発を図るための施策に関する基本方針(平成9年9月18日総理府告示第25号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議」(平成20年6月、衆・参両院。以下、「国会決議」という。)や「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会報告」(平成21年7月)を踏まえつつ、アイヌ文化振興法における国の責務であるアイヌ文化の振興を図るための施策の推進等を継続的に果たすことにより、先住民族であるアイヌの人々の歴史や文化を尊重し、多文化が共生し、誰もが生き生きと暮らせる社会の実現を目指す。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	アイヌ文化振興法に基づきアイヌ文化の振興等の業務を行う者として指定された(財)アイヌ文化振興・研究推進機構(アイヌ文化振興財団)が実施する、アイヌに関する総合的かつ実践的な研究の推進、アイヌの伝統等に関する普及啓発及びアイヌの伝統的生活空間の再生に要する経費の一部の補助等を行っている(1/2)。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	126	128	118	124	126	
		繰越し等	△ 1	0	0	0		
		計	0	0	0	0		
	執行額	125	128	118	124			
	執行率(%)	119	121	110				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(24年度)
	講演会の延べ参加人数		成果実績	人	24,262(1,395)	26,002(1,740)	27,778(1,776)	31,000
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標①			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	小中学生副読本及び教員向け指導書の作成部数(教員向け指導書はH21年度から)		活動実績(当初見込み)	部	155,000	185,000	185,000(184,000)	—(184,000)
	活動指標②			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	体験・交流活動の実施回数		活動実績(当初見込み)	回	14	10	18(17)	—(30)
単位当たりコスト	【講演会】 1,197円/人 【副読本】 44円/部 【体験・交流活動】 236,333円/回		算出根拠	※経費はいずれも国費ベース 【講演会】 H22講演会開催経費/H22参加人数 ・H22講演会開催経費:2,125,257円 ・H22参加人数:1,776人 【副読本】 H22副読本及び指導書作成経費/H22副読本及び指導書作成部数 ・H22副読本作成経費:8,075,431円 ・H22作成部数:185,000部 【体験・交流事業】 H22体験交流事業経費/H22実施回数 ・H22体験交流事業経費:4,254,000円 ・H22実施回数:18回				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0	0	積算見直しによる増 積算見直しによる減 事業の重点化による増				
	職員旅費	2	2					
	委員等旅費	0	1					
	北海道総合開発推進調査費	14	13					
	アイヌ伝統等普及啓発等事業費補助金	108	110					
計	124	126						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・国、関係自治体、アイヌ文化振興財団等で構成されるアイヌ文化振興等施策推進会議を設け、事業実施状況を把握するとともに、アイヌ文化振興等施策の更に効果的な推進を図り今後の施策の充実に取り組む観点からの検討を行っており、事業完了後においては、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」に基づき、報告書等の書類審査及び現地調査を行い、支出先・使途等について、その適否を含め適切に把握している。</p> <p>・また、平成22年度の行政事業レビュー結果をも踏まえ、入札契約の公平性・透明性の向上とコスト削減に努めているところであり、引き続き、運営費や事務費の節減等、効果的な事業の執行に努めつつ、これまでの事業の評価・検証を通じた事業の重点化等を検討し、より一層の効率的・効果的な施策の推進を図る。</p> <p>・今後とも、国会決議や「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会報告」等を踏まえ、アイヌの人々の尊厳を尊重し、多様な文化が共生する社会の形成を目指し、歴史認識、先住性、民族性といったこれまでの行政に前例のない視点への対応、少数者であるアイヌの人々の自発的意思の尊重、全国レベルでの国民の理解の促進などに配慮し、施策を継続的に推進し、着実に成果を積み上げていくことが重要と考える。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善 ② ④ ⑤	<p>これまで実施されてきた事業の評価を行い、成果を検証するとともに、今後の事業展開に当たっては、事業環境等の精査を行い、成果を念頭に置いた重点化を行う。引き続き効率的な事業実施を図る。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>国、北海道、(財)アイヌ文化振興・研究推進機構(以下「財団」)及びアイヌ関係団体から成る「アイヌ文化振興等施策推進会議」を開催し、事業の実施状況を把握するとともに、社会情勢等を踏まえたアイヌ文化振興等施策の更なる効果的な推進や、施策の充実という観点から、事業効果を検証している。</p> <p>平成24年度要求においては、既存事業を一部廃止するとともに、普及啓発活動をより効果的に実施するための経費を拡充する等、事業の重点化を図っている。</p> <p>また、財団事業における一般競争入札の推進や、事務費の縮減等により、引き続き効率的な事業実施に努めていく。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)



A.財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	伝統的生活空間再生事業に係る業務委託費、講演会運営業務委託費等	30			
人件費	研究の推進、普及啓発、伝統的生活空間の再生事業に係る人件費	13			
臨時雇賃金	伝統的生活空間再生事業等に係る臨時職員賃金	15			
賃借料	伝統的生活空間再生事業に係る機材借料、アイヌ文化交流センター事務室借料等	17			
印刷製本費	小中学生向け副読本、指導書、幼児向け絵本等	13			
雑役務費	アイヌ文化交流センター共益費、伝統的生活空間再生事業に係る諸経費等	5			
消耗品費	伝統的生活空間再生事業に係る資材購入、アイヌ文化交流センター事務用品等	4			
その他経費	助成金、旅費交通費、通信運搬費、諸謝金、光熱水費等	12			
計		109	計		0
B.一般社団法人白老モシリ			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務費	アイヌの伝統的生活空間の再生事業に係る伝統的家屋再生業務	2			
役務費	アイヌの伝統的生活空間の再生事業に関する体験交流事業業務	2			
役務費	アイヌの伝統的生活空間の再生事業に関する植栽維持管理等業務	1			
計		5	計		0
C.平取町			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務費	アイヌの伝統的生活空間の再生事業に係る管理運営等業務	3			
計		3	計		0
D.株式会社北海道二十一世紀総合研究所			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務費	普及啓発のためのアイヌ文化等状況調査委託業務	5			
計		5	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出され
 ている者について記載す
 る。費目と使途の双方で
 実情が分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.財団法人(1法人)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)アイヌ文化振興・研究推進機構	委託費(伝統的生活空間再生事業に係る業務委託費、講演会運営業務委託費等)等	109	補助金	-
		Aブロック 計	109		

B.財団法人・社団法人(2法人)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)白老モンリ	アイヌの伝統的生活空間の再生事業に係る伝統的家屋再生業務等	5	随意契約	-
2	(財)アイヌ民族博物館	アイヌの伝統的生活空間の再生事業に関する試験栽培等業務等	5	随意契約	-
		Bブロック 計	10		

C.地方公共団体(2団体)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	平取町	アイヌの伝統的生活空間の再生事業に関する管理運営等業務	3	随意契約	-
2	白老町	アイヌの伝統的生活空間の再生事業に関する管理運営等業務	2	随意契約	-
		Cブロック 計	6		

D.民間企業(7社)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)北海道二十一世紀総合研究所	普及啓発のためのアイヌ文化等状況調査委託業務	5	1	99.0
2	(株)長谷川土建工業	アイヌの伝統的生活空間再生事業コタン環境整備工事	3	9	97.6
3	(有)野生生物研究所	アイヌの伝統的生活空間再生事業候補地における計画策定等基礎調査業務	3	1	92.5
4	(株)日本経済社札幌支社	アイヌの伝統等に関する普及啓発事業に係る講演会(那覇会場)運営業務等	1	7	57.4
5	北海道日本電気ソフトウェア(株)	情報発信システム及びサーバ等保守・管理委託業務	0.9	随意契約	-
6	(株)電通北海道	アイヌの伝統等に関する普及啓発事業に係る講演会(東京会場)運営業務	0.8	7	61.1
7	総合警備保障(株)北海道支社	白老イオル事務所庁舎警備業務	0.1	随意契約	-
		Dブロック 計	15		